

揺れるベルトに悪戦苦闘



5月28日 スラックライン体験会



第652号
 発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (6月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,382人
 女 3,494人
 総人口 6,876人
 世帯数 2,101戸

めっちゃ楽しい! 参加者に大好評

スラックラインの普及活動始まる

五月二十八日に初めてスラックライン体験会が開催されました。小学生から五十代まで約三十人が参加し、未知のニユースポーツを体験しました。参加者はゆらゆら揺れるベルトの綱渡りに悪戦苦闘しつつも、楽しみながら体験を行いました。今後同様の体験会を開催し、村内で普及させていき、豊丘村から発信していく予定です。

分館行事なども活用を

豊丘公民館主事 元島将太

公民館主事として二年目を迎え、何か新事業をやってみよう。その思いからスラックライン体験会を初めて開催しました。多くの皆様のご協力もあり、形にすることが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

さて、そもそもスラックラインって何?と言う方がほとんどだと思います。簡単に言いますと、幅約五センチのナイロンベルトの上で、立ったり飛び跳ねたりと様々な動作を行なう、綱渡りとトランポリンを融合したようなニユースポーツです。年齢・性別・体格に関係なく自分のペースで楽しむことができ、体幹強化・バランス感覚・集中力が鍛えられ、近年注目を集めています。十五分程度の運動でジョギング三十分程度の運動量に匹敵するそうです。体験会の内容としては、大鹿小学校から三名の講師を迎えました。まずは、全体でスラックラインの基礎を教えていただき、その後三ヶ所に分かれて、止まったり歩いたり様々な練習を行ないました。最後に、仕上げとして参加者全員が



多少の補助が上達に役立ちます

初級の級位試験を受けて、参加者それぞれがその日の達成度合いを確認しました。このスラックラインですが、実際体験してみると意外と難しく奥が深いスポーツです。最初はベルトの上で立つことさえ困難ですが、練習を重ねるうちにコツを掴んでくるので、いろいろな動きができるようになります。

この公民館が発行される頃には、多くの方がスラックラインを知ることになるでしょう。このような体験会は今後も開催していきますので、皆様ぜひ参加をお願いします。分館行事や親子レクなどにも活用できますし、他のスポーツに応用も可能です。皆様の力でこの豊丘村からスラックラインを発信していきます。主役は皆様一人一人です。

生活リズム講演会 子供の心を育む四要素

睡眠、栄養、遊び、愛され感

生活リズム改善村民運動推進協議会主催の講演会が、五月二十六日交流学習センター「ゆめあるて」で開催されました。家庭全体、村全体が良い生活習慣の実践者となり、そこに育つ子供たちが健康やかに、伸びやかに育つてゆく様にと始められた全村運動。今年で十年目を迎え「早寝早起朝ごはん」の村民運動も豊丘村ならではの成長を遂げてきました。他市町村に比べ、

愚直に、真つすぐに取り組んできた姿は、二年前にこの運動の第一回全国表彰の長野県代表としての受賞によく現れています。とはいえず子供たちを取り巻く環境は年々厳しくなっています。情報機器の発達には親の思わくを越え、暴走しかねない状況ともいえ、家庭そのものも、ゆとりある対応が取りにくい世情の昨今です。こうした環境の中で子供たちの置かれてい

る現況に目を向け、今やらねばならないことは何かという視点での講演会でした。講師は、この運動の立ち上げから関わっていた、清川輝基先生と小児科医の内海裕美先生のお二人。内海先生は、現役の小児科開業医であると同時に、子供のころに迫る絵本の読み聞かせや、子育て相談に力を注ぎ、経験の中からの具体例で聴衆に迫っていました。乳児死亡率は世界で



やさしく語りかける内海先生

一番低い水準なるも、小学生不登校児が十二万人と増加傾向にある現実の中で、大切なこととして、①眠ること、②栄養のあるおいしい食事、③遊び、④愛され感、の四つを挙げ、心の土台づくりに務めてほしいと力説されていました。当り前のことながら改めて考えさせられました。

講演の終りに語られた山口県に伝わる「子育て四訓」について記します。(一)乳児はしっかりと肌をはなすな。(二)幼児は肌を離せ手を離すな。(三)少年は手を離せ目を離すな。(四)青年は目を離せ心を離すな。

(幹事長 寺沢宜勝)



(吉田 裕)

田植えが済んで蛙の大合唱の時期が来た。もうすぐここは緑一色に彩られ、風の吹く様に田んぼの緑が揺れる、風が目に見える。心が癒される。私が大好きな新田地域の風景になる。十二年後に日本中、世界中から豊丘に来る人々にこんな景色をぜひ見てもらいたい。何年か先に橋が出来て豊丘の人口も増えることが期待される。下段に住宅地を造ることが最も手っ取り早い策だが、少し予算を付けてインフラを整備し、中段に住宅地を一つの手ではないか。中段から見ると河川段丘、対岸の山々と天竜川の眺望。ただ区切るのではなく、自然を取り込んだ形にすれば素晴らしい住宅地になる。外から来て豊丘に住みたいと思う人々にも魅力的な景色を持った豊丘らしい住宅地になる。

農地を守り田園風景を守ることは難しい。田んぼはあっても田植えをし、稲刈りをする稲作をしていなければ、田園風景はない。後継者不足の中でどうやって稲作をしていくのか。田んぼが無くなって、工場や住宅だらけの風景に魅力はあるのか。大きく変わろうとする豊丘の未来をみんながもう一度考えてみる必要があるのではないか。

段丘

如来像や観音像に感動

史学会交流で高森町の文化財を見学

豊丘村と高森町との史学会の交流会が五月十日に行なわれました。昨年は高森町の方々が豊丘村を訪れましたが、今年は豊丘村が高森町に出かけ、その地の史跡や文化財を見学しました。高森町には国の重要文化財の薬師如来像や泉宝の聖観音像等があり、参加者一同、その見事さに感嘆しました。

高森町史跡巡り

史学会長
木下正道

高森町史学会との交流史跡巡りを、五月十日五十名の参加者のもと行なった。天竜川を挟んで隣町ながら、同町の史跡見学は初めて。「富

本銭」のロマンにひかれての参加者も少なからずいた。高森町資料館「時の駅」での出発式。マイクロバス二台に分乗、高森史学会員の説明を聞きつつ安養寺に着く。同寺を創建した松岡伊予守貞景公の墓と言われ、室町時代の特徴を顕著に示す宝篋印塔を観る。喧騒の国道を走って日本最古の鑄造貨幣が出土したと言われる武陵地一号古墳を観る。古墳と言えば、子供のころから高岡一号古墳の存在の印象が強くあり、近在にある多くの古墳群の存在はほとんど認識していなかった。

武陵地一号古墳は、規模こそ高岡一号古墳より小さいが、横穴式石室で、全長八

六m底部最大幅二・一m高さ二・五mの平地に築かれた古墳である。この付近は新井原をはじめ多くの古墳集落地域である。南大島川を挟んで座光寺地区恒川遺跡は、奈良時代から平安初期にかけて郡役所が置かれた「伊那郡衙」跡であると言われ、古代から交通路が開かれていて都の文化が行き来し、人々の生活模様の息づかいを感じる。硯等多くの遺物が出土し、日本最古の流通貨幣が出土した謎が理解できる思いがした。

段丘をあがって松岡城址に行く。松源寺前の四の堀で降り解説を聞きつつ三の堀、二の堀、一の堀を越え本丸城址に至る。広大な城

址の先端に立つと、故郷豊丘が、眼下に天竜川の流れから段丘に沿って淡緑から濃緑に深みを増して、村の名山鬼面山の頂まで全貌が一望できる絶景地である。自然の要害に守られた地に城建立の選定をした古人の知恵はさすがである。

伊那山脈の遠望に残雪を残して立つ南アルプスを眺めつつ古利瑠瑠寺に至る。住職より直々に説明を受ける。平安時代後期に盛んに行われたという、紺紙金字、般若心経、仏画を観たのち、宝物館にて秘仏薬師如来三尊仏を拝する。平安前期の作と言われ、重厚で厳しい尊容と優美な造形は、居ながらにして身すまいをたゞされる尊容であった。県宝の聖観音立像は藤原菩薩の典型的な姿と言われ、かつては傷みがひどく、昭和四十九年倉沢興世氏が修復した一・六九mの立像の優雅な気品に満ちた美しさは、

圧巻であった。昼食の後、松上館長より「時の駅」「資料館」の説明を受ける。「富本銭」大きき直径二四・一×二・三八cm厚さ〇・二三cm、重量三・〇二g。金庫から白手袋をはめた掌にのって出てきた姿である。今日の社会経済活動の元である流通貨幣の日本の原点の姿であった。本学神社の社宝等、国学四大にかかわる資料について説明を受ける。個々に資料館内の展示品を見学する。館内は広く展示品も見事に整理されていて実に素晴らしい展示であった。

交流を通して近隣市町村の歴史を学ぶことは、故郷に生きる者の視野思考を高める貴重な機会であった。

足取りも、声の張りも、とても九十歳を越えた方とは思えない若々しい幾野さんをお訪ねした。

幾野さんは山形県で六人兄弟の三番目の子供として生を受け、小学校六年を卒業と同時に上京した。一年間は会社勤めをしていたが、新しい仕事に就くためにバスガイドの教習所に入り、言葉遣いをはじめ、様々な教育を受けて渋谷駅前事務所に勤務する。その間に運転手の正一さんと結ばれる。この間に戦況が悪化してきたので主人の実家のある河野に疎開した。昭和十九年十一月の頃だったと思う。もう少し遅ければ東京大空襲など大変なことに遭っ

小池 幾野さん
九十三歳
河野中部在住



たと思うが、苦しかったこと、悲しかったことなど感じずに過ごすことが出来た。疎開して来てから、幾野さんは一人で衣料品店を営み始め、訪問販売として堀越や松川町の長峰、中山方面まで売り歩いた。一方、御主人は農協の運転手として働いた。

現在のは末の子夫妻や孫と同居しており、最近まで幾野さんは衣料品店を仕切っていた。買いに来てくれた常連客や河野大宮神社で行なうゲートボール仲間などに、お茶を入れて団らんするのにも大変楽しい一時であった。更に驚いたことに「般若心経」の写経を長年続け、一万枚を延壽院に納めていると言う。現在でも写経を

元気な高齢者¹⁰ 前向きに
シリーズ すべてを

私達もこうした気持ちに少しでも肖って生きたいものをつくづく感じました。

こと。私は矢も盾もたまたらず、宮外さんの案内で、その大木の眠る深い山を訪ねてみました。場所は、大乗坊へ向かう道路下の急坂な山林です。そこで、私はこの大木とその傷痕を写真に収めました。

戦後七十年。日本は戦争によって一般庶民の衣食住が奪われ、三百数十万人という尊い命を失いました。ところが、最近、不戦を誓った憲法を勝手に解釈し、更に九条を変えて、戦争のできる国にしようとしている動きが急速に進んでいます。こうした現状の中、私にはこの大木が「戦争をしてはいかん」と平和を訴えているように思えてなりません。

この傷痕は、負けると分かっているながら戦いを続けた戦争の「爪痕」でもあるのです。

南市場
日下部 富次

この二枚の写真、一体何だか分かりますか？一枚は巨大な松の木と、その木についた深い傷痕です。もう一枚はその傷痕をアップで



撮影したものです。問題は、この傷痕が、いつ頃、誰によって、何のためにつけられたものかということです。八十歳以上の方ならお分かりになるかと思いますが、若い皆さんには想像もできないのではないのでしょうか。

これは、第二次世界対戦末期（昭和十八年～二十年前半頃）、日本政府（軍部）に指示されて、人間によってつけられた傷痕です。当時、日本は連合軍によって石油の輸入が断たれ、民間の自動車はむろん、船も、戦車も、飛行機も動かせなくなりました。このため窮余の一策として、松の成木から松脂を採取し、石油の代用として松根油を作りました。

痕は、その松脂を採取するためにつけられたものなのです。

今年の五月、その工場跡を長沢の宮外昭宏さんと通りがかった折りに、宮外さんから「松の木に傷をつけて松脂を採った傷痕のある木がある。」とお話をお聞きしました。今では、その存在さえ消え失せてしま

いような国宝級の大木とのことです。



新緑の中の見学は心身のリフレッシュにもなりました



見学後の交流も充実していました

寄稿
戦争の爪痕

つげられた傷痕です。当時、日本は連合軍によって石油の輸入が断たれ、民間の自動車はむろん、船も、戦車も、飛行機も動かせなくなりました。このため窮余の一策として、松の成木から松脂を採取し、石油の代用として松根油を作りました。

痕は、その松脂を採取するためにつけられたものなのです。

今年の五月、その工場跡を長沢の宮外昭宏さんと通りがかった折りに、宮外さんから「松の木に傷をつけて松脂を採った傷痕のある木がある。」とお話をお聞きしました。今では、その存在さえ消え失せてしま

いような国宝級の大木とのことです。

この傷痕は、負けると分かっているながら戦いを続けた戦争の「爪痕」でもあるのです。

少年野球豊丘大会が、絶好の野球日和に恵まれ、五月二十四日に村民グラウンドを中心に行われました。Aブロックに所属した豊丘チームは、一回戦を勝ち抜き、決勝進出をかけて座光寺と対戦し、大激戦の末、惜敗しました。チームのキャプテンを務めた小野寺君に感想をお願いします。

豊丘チーム、決勝へあと一歩

— 絶好の野球日和、少年野球豊丘大会

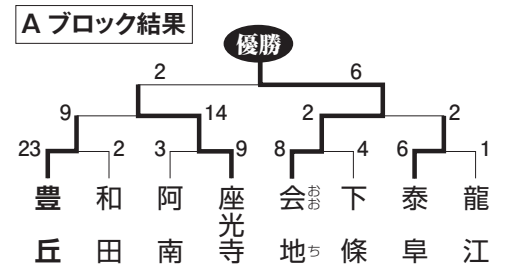
悔しさを力にかえて
豊丘チームキャプテン
小野寺 優斗

心配していた天気も晴れて、五月二十四日少年野球豊丘大会が行なわれました。開会式の選手宣誓はとも



抜群のチームワーク・豊丘チームの勇姿

緊張したけれど、下平村長さんが『がんばれ!』と応援してくれて緊張も和らぎ、僕なりにしっかりとできて良かったです。初戦は和田と対戦しました。僕はホームランを二本、スリーベースヒット一本、ヒット一本を打てました。仲間の打線も好調で大量得点し、二十三対二の圧勝で、チームみんなで大喜びしました。二回戦の座光寺との試合は初回に先制し、二回までは好調で流れも良かったけれど、三回で逆転されてしまいました。最終回ですごい追い込みをしたけれど、結果は十四対九で負けてしまいました。僕にとっては最後の豊丘大会で優勝できませんでしたが、とても残念だったけれど、いつも指導してく



こちら資料館 154

吊り手土器

写真は縄文中期(約四千年前)の吊り手土器と呼ばれるもので、伴野原遺跡から発掘されました。器の中で火が燃やされたようで、内側や縁が黒くすすけています。また、左右の角のような把手は筒状で中空となつていますが、穴は器の中ではなく外に抜けています。そのため、この穴にひもを通し、吊してランプのように使ったのではないかとみられています。

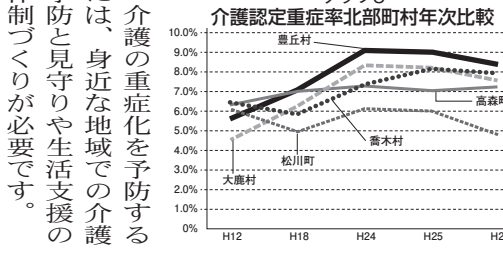
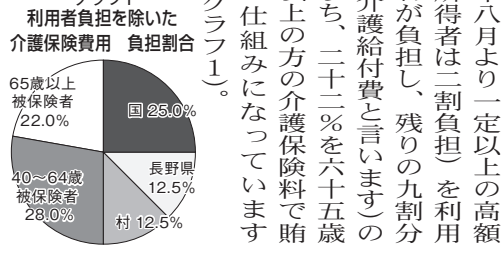
縄文人にとつて、灯火は生活の必需品であつたかどうかは疑問です。おそらく、神に祈るなどの祭りに使われたものと思われま

見られていて、伴野原が特別な集落であつた可能性を示唆しています。資料館にはこのうちの七点



縄文中期の吊り手土器

もうかがえます。(資料館主任 唐澤武彦)



介護の重症化を予防するには、身近な地域での介護予防と見守りや生活支援の体制づくりが必要です。

平成二十七年介護保険特別徴収開始通知書(仮通知)が平成二十七年四月一日付で豊丘村長より通知があつた。

豊丘村は、村内に小規模特別養護老人ホーム、認知症対応型グループホーム、老人保健施設等の入所施設を有するとともに、デイサービス等在宅サービスの事業所も比較充実していることもあり、介護サービスの利用に対する保険給付額が増加傾向にあるためです。

豊丘村の第六期(平成二十七年)より平成二十九年(平成二十七年)までの介護保険料の増額となつており、豊丘村は全国平均より保険料が高、県内でも二番目に高い状況です。

豊丘村の介護保険給付費の見込みが高額になつた要因として、①サービス単価が高い要介護三以上の重度の認定者の割合が多いこと

第六期では、医療と介護の連携強化や認知症の方とご家族の支援施策の推進、介護保険以外の生活支援サービスの充実、住居の確保等、住み慣れた地域で生活する為に医療や介護の専門職と地域の皆さんが役割分担し、協力して高齢者を支援する「地域包括ケアシステム」を構築することで介護保険財政の健全運営を図るよう村として努めます。

投稿
第六期介護保険料値上げの理由は

先頃、長野県では平成二十七年四月からの市町村別介護保険料額を公表しました。それによると、六十五歳以上の方の第六期(平成二十七年)より平成二十九年(平成二十七年)の増加となりました。この件について村民の方から投稿が寄せられましたので、役場健康福祉課介護保険係の見解を併せてご紹介させていただきます。

豊丘村の第六期(平成二十七年)より平成二十九年(平成二十七年)までの介護保険料の増額となつており、豊丘村は全国平均より保険料が高、県内でも二番目に高い状況です。

豊丘村の介護保険料(標準給付費)と保険料の動向(利用者負担1割分を除く)

年度	標準給付費(億円)	保険料(億円)
H12	2.5	2.367
H18	5.5	3.750(+27%)
H26	7.1	5.950(+14%)

したがって、サービスを

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.140

ホソミイトトンボ (イトトンボ科)



まずは一覧表を。初見日が早くなっています。地球温暖化の表われたと言う人もいます。私はまったくちがった視点で考えてみます。ラジオ、テレビの気象情報は毎日のように「五月と...」

よくよく考えてみると、この情報は人間のためにのみ通用するものであって、動・植物には伝わりません。まさに人間にとっての対策であり、対処ではないのです。一方、動・植物はどうでしょうか。気温の高い、低いに直接、対応しているのです。対処しきれない人間の弱さ、あやうさを感じています。(山田 拓)

Table with columns: 種名, 年差, 2014, 2015, 差(日数). Lists various damselfly nymph species and their hatching dates and differences.

霧に苦戦の大会
村民ゴルフ大会が、六月九日に高森カントリークラブで開催されました。当日は多少雨や霧もありました。参加者は気合十分で、迫力満点のプレーが繰り広げられました。この大会も今回で十八回を数え、一三六名という多数の方々が増加しました。百戦錬磨の年配者に加え、新進気鋭の若者や女性の方々も自慢の腕を披露し、村の活力を満天下に示しました。参加者は、この大会を契機に、明日への英気をしっかりと養っていただけたと思います。

今年で十八回目となる村民ゴルフ大会に出場させて頂きありがとうございます。当日はあいにくの雨と霧で天候は残念でしたが、とてもいい経験となる一日でした。私がゴルフを始めたきっかけは、林原に引越してきて同級生に誘われたことでした。林原・木門地区では、毎年春と秋にコンペが

開催されます。そのコンペに出場したくて始めた頃は毎日のように練習しました。しかし、なかなか自分の思うようには上達しないのがゴルフです。そういう時には友人に教えてもらいながら練習していききました。始めて一年、ようやくコースに出ることができました。まだルールもろくに知らない私に友人達は優しく教えてくれました。回を重ねるごとにどんどんゴルフにのめり込んでいきました。今年で始めて五年。ようやく迷惑がからない程度のゴルフができるようになってきました。今回の村民ゴルフ大会では、今までの経験

にはない霧というのがとても難しかったです。打ったボールを探るのがとても大変でしたが、友人達が一緒に探ってくれて本当に助かりました。終わってみれば、やはりスコアは最悪でしたが、これもまたいい経験になりました。表彰式では当然上位ではなく、満足のいくゴルフもできずに少し落ち込んでいたところ、同じテーブルにいらつしゃった参加者の方から「癖のない綺麗なフォームだったよ」と褒めて頂いた事で気持ちがようやく晴れました。他の方々とも色々お話しさせて頂き、とても親睦が深まりました。最後になりますが、この大会に毎年出場させて頂いているのも家族の理解があつてからこそなのでとても感謝しています。ありがとうございます。また来年もよろしくお願ひします。

雨霧に負けず 136名がプレー楽しむ
6月9日、村民ゴルフで多数集う
霧に苦戦の大会
林原 北澤和裕



この一打でなんとか決めたい... 集中が高まります

俳句 短歌

川隔て香の迫りくる藤の丈
お開帳に余る寺の綺羅
粽解く手元もどかし子等の顔
苗札の指のかたち汚れたる
鶯を聞いて野山に癒さるる
若葉風幌ぬう円陣吹きぬけり
目覚ましはまだ調わぬ初音かな
磯部セツ子
田中 静
片桐 洋子
下平 玲子
三島 保子
三島 里子
木下 眞水

東山道ありてみやこの風流る富本銭のまち対岸に見ゆ
初節句幟み上げて四世代平和のありて命つなぎぬ
車夫のひく人力車から母と娘がはらいみせて小さく手を振る
石室で時をききみし富本銭往来びとの意気込みしのぶ
捨てネギの白き根わずかに地に着いて日照りの中でつぼみを産みし
壁を塗る生業やめて二十年雨の一日を鏝の鏗とる
大原眞由美
筒井 恵子
松尾ヒサコ
松下 泰見
富永 博道
福澤貴美恵

5月1日から
5月31日まで(届出分)
出生
子氏名 届出人 自治会
久保田美優 良祐 中部三
松尾 桜香 大郎 本村
死亡者 年齢 届出人 自治会
前出 春生 83 光彦 小園
西元 敏計 97 敏明 西部
小石峯光夫 57 友美 豊丘南地
原 恒孝 99 重利 上村

婚姻
(原) 貴範
(田中) 莉菜
(飯田) 上村

誰の為に坂畑の石ころいん農は永久なりとつばやきながら
伊勢神宮の玉砂利のおとすがしがし本殿に息子とまいる母の日
えんどうの花は揃いて太陽に向い咲きいる朝の畑に
伊那谷は深き山に覆われて雪荒れ少なく温き日続く
妻の介護なさんと君は一杯のビールを残し暮れゆく町へ
早蕨がこぶしもたげて手招きす手折れば高く鶯の鳴く
うぐいすの声を聞きつつ草取れば気持ちも晴れる山間の畑
陽の匂い沁みる毛布ふかぶかと今日の終りに手足を伸ばす
春の午後時どき臉重くなり思いなおしてキッチンに立つ
靴底を通して伝う温もりは天と地からの尊き恵み
退院に手錠の如きリストバンド外されやおら婆婆に出られる

岳 道
紅 梅
吉沢 新子
松島 八重
河原 梨花
久保田 妙
壬生 千春
毛涯百合子
大倉 知江
北澤 秀子
福澤 亀人

柳 (豊丘川柳クラブ豊柳会)
課題 「相」 吉川 燎 選
相好をくずして見る児の仕種 宇井恵美子
外孫が爺を将棋の相棒に 宮島 昭三
口達者つい相槌を打たされて 市沢 照子
相応の暮らしの中に青い鳥 久保ひろし
軸吟：相性が良いたまものか夫婦和す
▼課題 「深」 互選
悲しみが深まる日記目が潤む 安田 喜子
深々と頭を下げて許しこう 吉川 燎
七十年なお傷深き原爆忌 福沢 勝美
困難を越えて深まる同志の和 桃沢 健介
刃より言葉で受けた深いキズ 林 桃子
▼自由吟 桃沢健介 選
後継ぎが出来舞い上がる鯉のぼり 西元 峯子
緊張感はしつた村議開票日 原 美風
もう一度回って食すバイキング 小澤 凜
軸吟：戦争を仕掛ける者は安全圏